

INFORMATION RELEASE

ミサワホーム株式会社 〒163-0833 東京都新宿区西新宿 2-4-1 Tel.03(3349)8088(広報直通)

2012 年 10 月 11 日

「木のまち整備促進事業」採択プロジェクト

ミサワホーム静岡の新社屋を着工

- 独自の木質接着複合パネルによる大規模木造建築物
- 屋上面に約 50kW の太陽光発電システムを搭載

ミサワホーム株式会社（代表取締役社長執行役員 竹中宣雄）は、国土交通省の平成 23 年度「木のまち整備促進事業」に採択された、独自の木質接着複合パネルを用いた 2 方向ラーメン構造による株式会社ミサワホーム静岡（本社 静岡県静岡市駿河区／代表取締役社長執行役員 榎本裕二）の新社屋の建設工事に 10 月 15 日（月）から着手します。

近年、低炭素社会の実現のために再生産可能な循環資源である木材を建築物に積極的に活用することが求められています。平成 22 年には「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が施行され、公共建築物について国が率先して木材利用に取り組むとともに、地方公共団体や民間事業者にも国の方針に即して主体的な取り組みを促すよう規定されています。

このような背景の下、当社グループの基礎技術開発を担う株式会社ミサワホーム総合研究所（本社 東京都杉並区／代表取締役社長 上野彰一）は、この要請に応えるべく、木質接着複合パネルに改良を加え、より高強度の仕様とすることで大規模木造建築物を可能にする独自構法「FWS（フューチャー・ウッド・システム）」の研究開発に取り組んでいます。

ミサワホーム静岡の新社屋建設にあたっては、2 方向ラーメン構造を採用した FWS 構法として平成 23 年度「木のまち整備促進事業」に応募し、採択されました。このたび、改良を加えた木質接着複合パネルについても建築基準法第 37 条の国土交通大臣の認定を取得し、着工するはこびとなりました。竣工は、来年 6 月を予定しています。

新社屋は敷地の高低差をいかし、2 階をエントランスとした地上 3 階建ての建物です。1 階はピロティ、2 階は商談スペースを中心に最新の住設機器類の実物展示コーナーやキッズルーム、3 階はオフィススペースとなっています。屋上面には、約 50kW の太陽光発電システムを設置します。全フロアを当社グループの販売会社であるミサワホーム静岡の本社オフィスとして利用します。

ミサワホーム及びミサワホーム総合研究所は、このプロジェクトを通じて FWS 構法の開発・検証をさらに進め、今後、この構法による学校施設や保育・介護施設、店舗、共同住宅などの大規模木造建築物に積極的に取り組むことで、事業拡大を目指す考えです。

■建物概要

【建設地】〒421-0102 静岡県静岡市駿河区手越 367

【敷地面積】4,721.27 m²

【建築面積】1,025.96 m²

【延べ床面積】2,894.93 m²

【階数】地上3階建

【太陽光発電】49.68kW（最大出力）

【事業者】ミサワホーム株式会社

【設計者】株式会社ミサワホーム総合研究所

【施工者】テクノエフアンドシー株式会社

（本社 東京都新宿区／代表取締役社長執行役員 若月恵治）



外観イメージ



内観イメージ

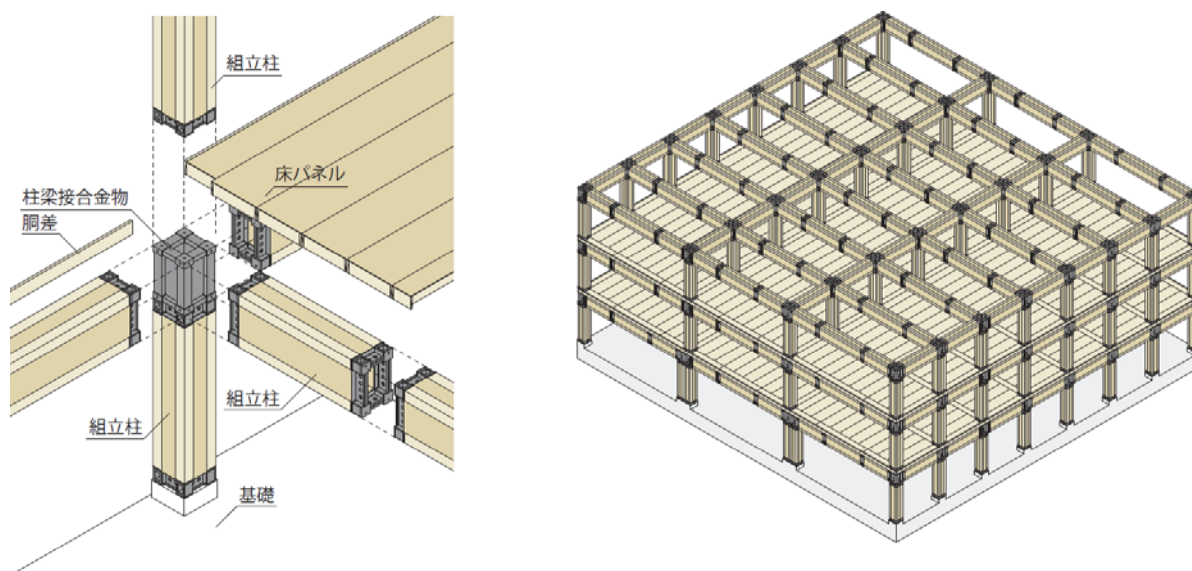
■FWS 構法の特長

FWS 構法は、ミサワホーム独自の木質接着複合パネルをベースに、その面材である合板の厚みを増すなどの改良を加えた高強度の木質接着複合パネルの使用で実現する大スパン化や高層化などにより、木造建築物の可能性を広げることを目的に開発中の構法です。

今回のプロジェクトでは、高強度の木質接着複合パネルをボックス形状に組んだ強固な柱や梁を構造材として使用する、まったく新しい木質系の 2 方向ラーメン構造としており、現場で柱と梁を、金物を介してボルトやナットで容易に接合できるため、施工性にも優れます。

また、柱及び梁は最長寸法を 3.64m とし、断面の規格を統一・限定することで工場生産効率を向上させ、かつ運搬を容易にするとともに、梁を現場にて接合することで最大約 9m の大スパンや大空間を実現しています。

なお、今後は、2 方向ラーメン構造以外の FWS 構法も引きつづき検討・検証していく予定です。



FWS 構法イメージ

＊この件に関するお問い合わせ先＊

ミサワホーム(株) 経営企画部 広報・IR 課 中村孝 村田祥生

TEL : 03-3349-8088 FAX : 03-5381-7838

MAIL : Hiroo_Murata@home.misawa.co.jp